

韓国語と日本語の2字漢語動詞に関する一考察

—韓日辞典に見られる異同を手がかりに—

尹 亭 仁・車 香 春

The verb suffix <-hada> in Korean and <-suru> in Japanese play the same role of Chinese verbal nouns(VN). In this paper, we mainly investigated the correspondence of the two-syllables VN-hada and VN-suru. We used the terms 'positive transfer' and 'negative transfer' for this investigation. We found that there are two types of positive transfer and seven types of negative transfer between the two-syllables VN-hada and VN-suru. As regards positive transfer, it enables learners to improve their skills. On the other hand, negative transfer tends to cause mother tongue interference.

キーワード：韓国語，日本語，2字漢語動詞，韓日辞典，対応，非対応，正の転移，負の転移

1 はじめに

韓国語と日本語は多くの漢語を共有している。そのため、両言語の学習者にとって、正の転移が起こりやすい¹。とりわけ、(1)と(2)のような漢語動詞の用法を見てみよう。

- (1) k. 인구(人口)가 증가(増加)하다. (自動詞) (k：韓国語の文)
- j. 人口が増加する。 (j：日本語の文)
- (2) k. 악조건(悪条件)을 극복(克服)하다. (他動詞)
- j. 悪条件を克服する。

(1k)の自動詞の「증가(増加)하다」に対して日本語は「増加する」が、(2k)の他動詞の「극복(克服)하다」に対しては「克服する」が対応し、「하

다hada」とスルが同じ役割を担っていることが分かる。日韓両言語は同じ漢語名詞を語幹とし、それぞれ接辞「하다」とスルを接続させ、動詞化している。この「漢語하다」と「漢語スル」の対応は生産的、かつ体系的であり、両方とも形態上は名詞であるが、統語上は動詞としての機能も持つ動名詞 (Verbal Noun, 以下VNと称する) である。

ところが、両言語のこの漢語VNの対応には以下のような不一致も見られる。

- (3) k. 공사(工事)가 완료(完了)되다.
j. 工事が完了する。
k'. *工事が 完了하다.
- (4) k. 전 생애(生涯)를 희생(犠牲)하다.
j. *全生涯を犠牲する。
j'. 全生涯を犠牲にする。
- (5) k. 엔진이 고장(故障)나다.
j. エンジンが故障する。
k'. *엔진이 고장(故障)하다.
- (6) k. 회의(會議)를 시작(始作)하다.
j. *會議を始作する。
j'. 會議を始める。

(3)の「완료(完了)되다」に対して日本語は「完了する」が対応している。(4)では「희생(犠牲)하다」に対して日本語は対応できず「犠牲にする」になっている。また、(5)では「고장(故障)」というVNが日本語ではスル形になれるのに、韓国語では하다形になれないため、「고장(故障)나다」という別の述語になっている。さらに、(6)では、「시작(始作)하다」に対応する日本語は和語の「始める」である。このように両言語の漢語VNの用法には対応するものと対応しないものが混在している。

本稿では、漢語VN、とりわけ語数のもっとも多い2字漢語VNを対象に(1)と(2)の「正の転移」だけでなく、(3)～(6)の「負の転移」にも焦点を当て、その様子を浮き彫りにする。それを手がかりに両言語の学習者が抱える学習上の問題点や必要な取り組みについて考える。また日本における韓日辞典が取り入れるべき試みについても考えたい。以下では、次のような順序で論を進める。

第2節では、先行研究について考察する。

第3節では、韓日辞典に見る2字漢語動詞の様子を取り上げる。

第4節では、2字漢語動詞が呈している日韓の異同を取り上げる。

第5節では、韓日辞典に求められる試みについて考える。

第6節では、今までの考察をまとめる。

2. 先行研究の考察

従来の研究では、(3)に示した不一致に焦点が集中し、そのずれの説明を試みたものが多い。「完了する」に対応するのは「完了하다」ではなく「完了되다」なのは、両言語の中級以上の学習者を悩ませている問題の1つとして、日韓対照言語研究の大きなテーマにもなっている。この不一致については生越(1982, 2001a, 2001b)、辛碩基(1993)、鷺尾(1998)、尹亨仁(2002)などが取り上げている。

両言語におけるこの相違に初めて注目したのは生越(1982)である。生越(1982)では韓国語の「하다・되다」形の区別は主語がその「動作の動作主」であるか否かによるものと述べている。しかし、辛碩基(1993)でも指摘されたことだが、主格に立つ名詞が動作主でなくても하다形が使われる例は多い。

尹亨仁(2002)では、両言語の接辞スルと「하다」「되다」の意味特徴を対応関係の一次的要因として取り上げている。そもそも漢語動詞が複合動詞であることを考えると、前項を成す漢語VNの意味特徴も構文と関係があるが、後項を成すスルと「하다」「되다」の特徴も関係があるからである。

門脇(1989)は、「漢語+する」と「漢語+하다」の対応関係を多角的に取り上げたが、主に漢語VN(1字漢語の場合はVNになれない)とスルおよび「하다」との融合性について考察している。

両言語の漢語VNの全体の様子が分かるような研究はまだ出されていないと思われる。それは何より膨大なデータの分析が必要であるため、個人が取り組むには限界があるからである。本稿ではこのような状況から前進すべく、辞書のデータを用い、漢語VNの語彙分析の作業に取り組むことにした。本稿の筆者2人は、2009年度に刊行された『デイリーコンサイス 韓日・日韓辞典』(三省堂)に執筆者として関わった。今回、三省堂より了解を得、この作業に取り組むことができた。辞書のデータの利用を許可してくれた三省堂に感謝の意を表わしたい。

3. 韓日辞典に見る漢語動詞の様子

本稿では、『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』(2009)(以下『デイリー』と称する)を対象に漢語動詞の語彙調査を行なった。

3-1 調査方法と分析対象の基準

調査では、まず『デイリー』から「2字漢語VN+하다」をピックアップし、日本語との対応関係を調べた。1字漢語動詞(논(論)-하다:論じる, 달(達)-하다:達する, 접(接)-하다:接する, 정(定)-하다:定める, 행(行)하다:行なうなど)は対象外とした²。(7)のように漢語から派生したものの、漢語としての意識がないまたは薄いVNも除外した。

- | | |
|---------------|------------|
| (7) 구완(←救援)하다 | 김장(←沈藏)하다 |
| 보시(←布施)하다 | 김작(←斟酌)하다 |
| 채비(←差備)하다 | 추렴(←出斂)하다 |
| 퇴자(←退字)하다 | 해장(←解醒)하다… |

しかし、(8)のように日韓において用いる漢字が多少違う場合は分析の対象に含めた。

- | | |
|-------------------|----------------|
| (8) 소개(疏開)하다・疎開する | 삼투(滲透)하다・浸透する |
| 소외(疏外)하다・疎外する | 수뢰(收賂)하다・収賄する |
| 수집(蒐集)하다・収集する | 선동(煽動)하다・扇動する |
| 안배(按排)하다・按配する | 암송(暗誦)하다・暗唱する |
| 양해(諒解)하다・了解する | 연립(聯立)하다・連立する |
| 예우(禮遇)하다・礼遇する | 은퇴(隱退)하다・引退する |
| 항변(抗辯)하다・抗弁する | 홍보(弘報)하다・広報する |
| 획책(劃策)하다・画策する | 회부(回附)하다・回付する… |

「선호(選好)하다」のように、「選好」という名詞形は対応しても、「*選好する³」は対応できず、「好む」という和語を用いる場合も分析の対象とした。

2字漢語VNは、『デイリー』の見出し語約48,000語の中で、5,334語⁴が確認できた<表1参照>。全語彙数の1割を超えている。この<表1>の数を以下で「データ」と呼ぶ。これに3字および4字漢語VNを加えると、漢語VNが占める割合はさらに高くなる⁵。

＜表 1＞ 2 字漢語 + 하다 動詞とスル動詞の対応の内訳

	2 字漢語 + 하다 の語数	【対応 1・2】 の語数 (漢語 hada ⇔ 漢語 スル)	対応率	【非対応 1・2・4・ 5・6】 の語数	【非対応 3】 の語数 (音読み)	【非対応 7】 (漢語 hada ⇔ 漢語 되다)	非対応の語数
ㄱ	855	686	80.23	137	7	25	169
ㄴ	147	110	74.82	28	1	8	37
ㄷ	251	181	72.11	40	5	25	70
ㄹ	0	0	0	0	0	0	0
ㄴ	190	123	64.73	51	7	9	67
ㄷ	537	389	72.43	112	7	29	148
ㄴ	642	482	75.07	121	15	24	160
ㄷ	742	527	71.02	159	15	41	215
ㄴ	805	675	83.72	97	10	23	130
ㄷ	398	295	74.12	87	9	7	103
ㄴ	5	3	60	0	0	2	2
ㄷ	214	170	79.43	38	3	3	44
ㄴ	178	136	76.4	32	0	10	42
ㄷ	370	277	75.13	77	10	6	93
ㄴ	5334	4054	75.94	979	89	212	1280
		平均対応率					

3-2 「データ」の分類

(1)と(2)のように母語が目標言語の習得を促進することを「正の転移 (positive transfer)」と言う。また(3)～(6)のように、母語が目標言語の習得に妨げになることを「負の転移 (negative transfer)」と言う。今回「データ」は大きくこの「正の転移」と「負の転移」に分け、分析を試みた。

3-2-1 正の転移

「データ」から正の転移につながりうる 2 字漢語 VN を以下のように 2 種類に分けた。

【対応 1】 2 字漢語 + 하다 ⇔ 2 字漢語 + スル

안내(案内)하다 案内する

【対応 2】 2 字漢語 + 하다 ⇔ 2 字漢語 + スル・和語動詞

거부(拒否)하다 拒否する・拒む

3-2-2 負の転移

「データ」から負の転移につながりうる 2 字漢語 VN を以下のように 7 種類に分けた。

【非対応 1】 2 字漢語 + 하다 ⇔ 異なる 2 字漢語を含む動詞

공부(工夫)하다 勉強する

【非対応 2】 2 字漢語 + 하다 ⇔ 類似した 2 字漢語が対応する

세수(洗手)하다 洗顔する

【非対応 3】 音読みの 2 字漢語 + 하다 ⇔ 訓読みの和語動詞

취급(取扱)하다 取り扱う

【非対応 4】 2 字漢語 + 하다 ⇔ 和語動詞が対応する

대답(對答)하다 答える

【非対応 5】 2 字漢語 + 하다 ⇔ まったく異なる表現が対応する

거론(舉論)하다 (問題として) 取り上げる

【非対応 6】 2 字漢語 + 하다 ⇔ 名詞形しか対応できない

착오(錯誤)하다 錯誤 (×スル)

【非対応 7】 2 字漢語 + 되다 ⇔ 2 字漢語 + スル

고립(孤立)되다 孤立する

上記のような分類に基づき、以下では、『デイリー』で 1 割を超える比重を占めている 2 字漢語 VN の日韓両言語における対応関係および実例の様

子を見てみよう。

4. 2字漢語動詞が呈している日韓の異同

<表1>に示したように、日韓両言語において2字漢語VNは7割以上が対応関係を見せている。この対応は両言語の学習者にとって「正の転移」につながる。しかし、これはあくまでも『デイリー』の中の「韓日辞典」の分析から導き出した数値で、「日韓辞典」から近似する結果が得られるどうかは日韓辞典の分析を待たなければならない。まず、両言語において学習効果が期待できる「正の転移」についてより詳しく見てみよう。

4-1 「正の転移」の様子

日韓両言語において4,000以上の2字漢語VNが対応関係を見せている。両言語が多く漢語を共有していることは周知のことだが、今までこういふふうに出されたことはなかったと思われる。高い数値ではあるが、実際の使用においては簡単に置き換えられないVNのことも含め以下で詳しく見ていきたい。

4-1-1 【対応1】の場合

【対応1】は(9)の「2字漢語+하다」に「2字漢語+スル」が対応するもっとも語数の多い類である。全体の2字VNの数からすると、6割は越えると思われる。

(9) 공감(共感)하다	共感する
설명(説明)하다	説明する
안내(案内)하다	案内する
약속(約束)하다	約束する
요리(料理)하다	料理する
운동(運動)하다	運動する
운전(運転)하다	運転する…

この対応は両言語の学習者の学習意欲を高めてくれる、すなわち正の転移につながる。実際、筆者たちは韓国語の初級の早い段階に「약속(約束)하다」「요리(料理)하다」「운동(運動)하다」「운전(運転)하다」を取り入れ、会話の練習を行なっている。「교류(交流)하다」などを取り入れても無理なく受け入れられた。テキストや教員の工夫次第で学習者の語彙力を高め

られる。

【対応1】の漢語VNが日本における韓国語テキストにどれほど取り入れられているのか、参考のため、シリーズで出版されている李昌圭の『韓国語初級』(2000/2006),『韓国語中級』(2000/2005),『韓国語上級』(2008)を調べてみた。初級では8個(総数12個, 4個は非対応), 中級では23個(総数29個, 6個は非対応), 上級では99個(総数117個, 18個は非対応)が用いられていた。予想より低い数値である。『日本語基本動詞用法辞典』(1989)に載っている基本動詞728語のうち, 2字漢語VNは165語で, 全体の22.7%を占めている。これに対応する韓国語の2字漢語하다は144語である。今回本稿で提示する【対応1】の数値が今後韓国語のテキストの作成に参考になることを願う。

4-1-2 【対応2】の場合

【対応2】は(10)のように「2字漢語+하다」に文脈によって「2字漢語+スル」または「和語動詞」が対応する類である。【対応1】のように, スルと「하다」を簡単に置き換えることはできない。実際の使用において和語を用いると非対応にもなるが, 今回は漢語VNスルが存在するために「正の転移」に含めた。

(10) 거부(拒否)하다	拒否する・拒む
도전(挑戦)하다	挑戦する・挑む
단념(斷念)하다	斷念する・諦める
보완(補完)하다	補完する・補う
복수(復讐)하다	復讐する・仕返しする・リベンジする
실망(失望)하다	失望する・がっかりする
양보(讓歩)하다	讓歩する・譲る
억제(抑制)하다	抑制する・抑える
연결(連結)하다	連結する・繋ぐ
유행(流行)하다	流行する・はやる
착각(錯覺)하다	錯覺する・勘違いする
추진(推進)하다	推進する・推し進める
축하(祝賀)하다	祝賀する・祝う
철거(撤去)하다	撤去する・立ち退く
회피(回避)하다	回避する・避ける ^{6...}

さらに、(11) のような対応になると、和語動詞の方が多く用いられ、漢語動詞の使用は制限される。また場合によっては、「マッサージする」「リベンジする」のように外来語が用いられる。(10)も(11)も漢語動詞が存在するものの、場面によってはその使用が不自然になることも考えられる。

(11) 망황(彷徨)하다	彷徨(ほう)する・彷徨(さまよ)う
번민(煩悶)하다	煩悶(はん)する・もだえ苦しむ
수긍(首肯)하다	首肯する・うなづく
시인(是認)하다	是認する・認める
신음(呻吟)하다	呻吟(しん)する・うめく
안마(按摩)하다	按摩する・マッサージする
저주(詛呪)하다	呪詛(じゅ)する・呪う
퇴색(褪色)하다	退色する・色褪せる
포착(捕捉)하다	捕捉(ほく)する・捉える
함축(含蓄)하다	含蓄する・含む…

ここまで「2字漢語+하다」と「2字漢語+スル」の対応の様子を見てみた。両言語間でうまく置き換えができる【対応1】と漢語VNが存在するものの、簡単には置き換えができない【対応2】の例を示した。『デイリー』は辞書の名前通り日常生活で用いられる語彙を中心に編まれたものである。辞書の規模が大きくなると漢語動詞の対応関係も多少変わる⁷と思われるが、7割前後で推移すると見ている。

次節では、ずれている対応関係、すなわち両言語の習得において「負の転移」をもたらしうる2割強(約1,300語)のVNの様子について見てみよう。

4-2 「負の転移」の様子

4-2-1 【非対応1】の場合

【非対応1】は、(12)のように「2字漢語+하다」に「他の2字漢語を含むスル動詞」が対応する類である。

(12) 공부(工夫)하다	勉強する
거래(去來)하다	取引する
기별(奇別)하다	連絡する
발인(發靨)하다	出棺する

<u>망심</u> (放心) 하다	<u>油断</u> する
<u>응시</u> (應試) 하다	<u>受験</u> する
<u>의논</u> (議論) 하다	<u>相談</u> する
<u>인사</u> (人事) 하다	<u>挨拶</u> する
<u>환전</u> (換錢) 하다	<u>両替</u> する…

両言語の学習者はこの違いをしっかりと学習しないと【対応1】のように捉え、母語干渉を起こすことになる。日本語を母語とする韓国語学習者にとって初級の早い段階で登場する「공부(工夫)하다」は実際【対応1】の「운동(運動)하다」や「운전(運轉)하다」より習得に時間がかかる。

4-2-2 【非対応2】の場合

【非対応2】は、(13)のように「2字漢語+하다」に「1字だけ異なる漢語を含む」類である。2字漢語VNの中で1字だけ異なる漢語を用いるため、運用において混乱をきたす。【非対応1】と同じく慣れるのに時間がかかる。

(13) <u>개각</u> (改閣) 하다	<u>組閣</u> する
<u>고생</u> (苦生) 하다	<u>苦勞</u> する
<u>급구</u> (急求) 하다	<u>急募</u> する
<u>낙심</u> (落心) 하다	<u>落胆</u> する
<u>냉대</u> (冷待) 하다	<u>冷遇</u> する
<u>단합</u> (團合) 하다	<u>團結</u> する
<u>돌변</u> (突變) 하다	<u>急変</u> する
<u>상의</u> (相議) 하다	<u>相談</u> する
<u>세수</u> (洗手) 하다	<u>洗顔</u> する
<u>음독</u> (飲毒) 하다	<u>服毒</u> する
<u>이임</u> (移任) 하다	<u>転任</u> する
<u>이직</u> (移職) 하다	<u>転職</u> する
<u>참석</u> (參席) 하다	<u>参加</u> する
<u>촉구</u> (促求) 하다	<u>催促</u> する
<u>출전</u> (出戰) 하다	<u>出場</u> する
<u>당도</u> (當到) 하다	<u>到着</u> する…

韓国語を母語とする日本語学習者は、「参加する」の意味でしばしば「*参席する」を口にする。「*参席する」ほどではないが、「*促求する」

を口にする場合もある。頻度の高い語ほど母語干渉を起こす可能性が高いと思われるので、レベルに合わせて両言語の学習者にこのようなりストを提示し、注意を促すのも1つの方法であると思われる。

4-2-3 【非対応3】の場合

【非対応3】は、(14)のように「2字漢語+하다」に「訓読みの和語動詞」が対応する類である。今回、『デイリー』からは89語（非対応VNの中で6.95%）が確認できた<表1参照>。

(14) 간주(看做)하다	<u>看</u> 做す
겸비(兼備)하다	兼 <u>ね</u> 備える
견적(見積)하다	<u>見</u> 積る
대부(貸付)하다	<u>貸</u> し <u>付</u> ける
대절(貸切)하다	<u>貸</u> し <u>切</u> る
대출(貸出)하다	<u>貸</u> し <u>出</u> す
매상(買上)하다	<u>買</u> い <u>上</u> げる
인계(引繼)하다	<u>引</u> き <u>繼</u> ぐ
인도(引渡)하다	<u>引</u> き <u>渡</u> す
인상(引上)하다	<u>引</u> き <u>上</u> げる
인수(引受)하다	<u>引</u> き <u>受</u> ける
인하(引下)하다	<u>引</u> き <u>下</u> げる
인양(引揚)하다	<u>引</u> き <u>揚</u> げる
인출(引出)하다	<u>引</u> き <u>出</u> す
입회(立會)하다	<u>立</u> ち <u>会</u> う
언도(言渡)하다	<u>言</u> い <u>渡</u> す
언쟁(言争)하다	<u>言</u> い <u>争</u> う
차입(借入)하다	<u>借</u> り <u>入</u> れる
취하(取下)하다	<u>取</u> り <u>下</u> げる
추월(追越)하다	<u>追</u> い <u>越</u> す
취급(取扱)하다	<u>取</u> り <u>扱</u> う
취소(取消)하다	<u>取</u> り <u>消</u> す・キャンセルする
취조(取調)하다	<u>取</u> り <u>調</u> べる
환승(換乗)하다	<u>乗</u> り <u>換</u> える…

(15)は(14)と違って「名詞形+スル」の語構成である。門脇（1982：

52) によると、この類の語は明治以降日本語から借用された。(14)からも(15)からも含まれている漢語2字だけを音読みで借用し、後ろに「하다」を接続させ、漢語VN化したと思われる。

(15) 격상(格上)하다	<u>格上</u> げする
격하(格下)하다	<u>格下</u> げする
낙서(落書)하다	<u>落書</u> きする
독점(獨占)하다	<u>独り占</u> めする
부침(浮沈)하다	<u>浮</u> き <u>沈</u> みする
수배(手配)하다	<u>手配</u> する
수속(手續)하다	<u>手続</u> きする
출입(出入)하다	<u>出入</u> りする…

4-2-4 【非対応4】の場合

【非対応4】は、(16)のように「2字漢語+하다」に「和語動詞」が対応する類である。

(16) 거론(舉論)하다	取り上げる
고대(苦待)하다	待ち焦がれる
고민(苦悶)하다	悩む
궁리(窮理)하다	思いめぐらす
거역(拒逆)하다	逆らう
과찬(過讚)하다	褒めすぎる
단속(團束)하다	取り締まる
당부(當付)하다	頼む
대답(對答)하다	答える
대신(代身)하다	代わる
대비(對備)하다	備える
대접(待接)하다	もてなす
대체(代替)하다	振り替える
도모(圖謀)하다	企てる
문의(問議)하다	問い合わせる
번복(飜覆)하다	覆す
부탁(付託)하다	頼む
분간(分揀)하다	見分ける

사과(謝過)하다	謝る
시작(始作)하다	始める
임박(臨迫)하다	差し迫る
이사(移徙)하다	引っ越す
제고(提高)하다	高める
출가(出嫁)하다	嫁ぐ
핍하(貶下)하다	貶 ^(けな) す
호소(呼訴)하다	訴える…

韓国語を母語とする日本語学習者でもある筆者たちも「*生産力を提高する」「*知り合いに付託する」のような母語干渉を起こした記憶があり、母語干渉を起こさず「*対備する→備える」「*団束する→取り締まる」などをうまく使いこなせるよう常に気をつけている。

4-2-5 【非対応5】の場合

【非対応5】は、(17)のように「2字漢語+하다」に対応する日本語がないため語義が動詞句または説明になっている類である。

(17) 거론(舉論)하다	(問題として) 取り上げる
고대(苦待)하다	待ち焦がれる；待ち望む；待ちわびる
기겁(氣怯)하다	びっくり仰天する；腰を抜かす
농담(弄談)하다	冗談を言う
단산(斷産)하다	子どもを産まない；出産を絶つ
당두(當頭)하다	差し迫る；切迫する
대비(對備)하다	(何かに備えて) 準備をする
도강(盜講)하다	大学で履修届けを出さないで講義を聞く
말설(發說)하다	口に出す
방학(放學)하다	(夏休み・冬休みなど)学校が長期休みに入る
부응(副應)하다	(期待などに) 応える
예매(豫買)하다	前もって買う
차출(差出)하다	人を選んで差し出す
출시(出市)하다	売り出す
허비(虛費)하다	無駄遣いする…

頻度の高い語も多く、文脈に合う表現を用いることができるようになるまで両言語の学習者には時間がかかる。(18)は【非対応5】の中でも、韓

国の文化的特徴がうかがえる類であると思い、取り上げた。

(18) 개혼(開婚)하다	その家の子どもが初めて結婚する
근조(謹弔)하다	謹んで弔う
납북(拉北)하다	北朝鮮に拉致する
득세(得勢)하다	権力を得る
벌초(伐草)하다	墓の周りの雑草を刈る
보국(保國)하다	国を防衛する
봉양(奉養)하다	親や目上の人を養う
세배(歳拜)하다	新年の挨拶をする
승유(崇儒)하다	儒教を崇拜する
애족(愛族)하다	民族を愛する
월남(越南)하다	北朝鮮から軍事境界線を越えて韓国に行く
찬양(讚揚)하다	ほめたたえる
초행(初行)하다	ある所へ初めて行く
출상(出喪)하다	喪家から棺が出る
탈상(脫喪)하다	喪が明ける
필혼(畢婚)하다	その家の子どもが全員結婚する…

4-2-6 【非対応6】の場合

【非対応6】は、(19)のように「2字漢語+하다」に日本語は名詞形のみが対応する類である。

(19) 결번(缺番)하다	欠番 (×スル) (欠番にする)
공언(空言)하다	空言 (×スル) (空言を吐く)
노역(勞役)하다	労役 (×スル) (労役に服する)
동悸(動悸)하다	動悸 (×スル) (動悸がする)
독설(毒舌)하다	毒舌 (×スル) (毒舌をふるう)
망언(妄言)하다	妄言 (×スル) (妄言を吐く)
목표(目標)하다	目標 (×スル) (目標にする)
사업(事業)하다	事業 (×スル)
배신(背信)하다	背信 (×スル) (裏切る)
범行(犯行)하다	犯行 (×スル) (犯行に及ぶ)
분재(盆栽)하다	盆栽 (×スル) (盆栽をいじる)
불문(不問)하다	不問 (×スル) (不問に付す ⁸)

불복(不服)하다	不服 (×スル) (不服を唱える)
불화(不和)하다	不和 (×スル) (不和になる)
살인(殺人)하다	殺人 (×スル) (人を殺す)
섭외(涉外)하다	涉外 (×スル)
소식(小食)하다	小食 (×スル) (小食になる)
수입(收入)하다	収入 (×スル)
시도(試圖)하다	試図 (×スル) (試みる)
식용(食用)하다	食用 (×スル)
신망(信望)하다	信望 (×スル) (信望がある)
실점(失點)하다	失点 ⁹ (×スル)
애사(愛社)하다	愛社 (×スル)
애처(愛妻)하다	愛妻 (×スル)
야경(夜警)하다 ¹⁰	夜警 (×スル)
연민(憐憫)하다	憐憫 (×スル) (憐れむ)
영위(營爲)하다	營為 ¹¹ (×スル) (営む)
음모(陰謀)하다	陰謀 (×スル) (陰謀をめぐらす)
의심(疑心)하다	疑心 (×スル) (疑う)
의혹(疑惑)하다	疑惑 (×スル) (疑惑を招く)
이의(異議)하다	異議 (×スル) (異議を唱える)
일조(一助)하다	一助 (×スル) (一助とする)
임종(臨終)하다	臨終 (×スル) (臨終を迎える)
재야(在野)하다	在野 (×スル)
쟁의(爭議)하다	爭議 (×スル)
주간(週刊)하다	週刊 (×スル)
주화(鑄貨)하다	鑄貨 (×スル)
진통(陣痛)하다	陣痛 (×スル)
착오(錯誤)하다	錯誤 (×スル) (勘違いする)
치명(致命)하다	致命 (×スル)
필사(必死)하다	必死 (×スル) (必死になる)
혁명(革命)하다	革命 (×スル)
호평(好評)하다	好評 (×スル) (好評を博する)
효도(孝道)하다	孝道 (×スル) (親孝行する)
희생(犠牲)하다	犠牲 (×スル) (犠牲にする) …

日本語を母語とする韓国語学習者からすると、「盆栽」「毒舌」になぜ「하다」がつくかが疑問になると思われる。しかし、今回の語彙調査で負の転移を起こす非対応の中でこの類の不一致がもっとも多く、500語以上に上った。この不一致については尹亨仁（2002）で部分的に取り上げたことがあるが、予想を超える結果である。参考として、語彙数の多い「○」の様子を見てみよう<表2参照>。

＜表2＞【非対応6】「○」の場合

ハングル	韓国漢字	日本語	ハングル	韓国漢字	日本語
악평하다	惡評하다	悪評－	완충하다	緩衝하다	緩衝－
안부하다	安否하다	安否－	외판하다	外販하다	外販－
안수하다	按手하다	按手－	외항하다	外航하다	外航－
암묵하다	暗默하다	暗黙－	요설하다	饒舌하다	饒舌－
애교하다	愛校하다	愛校－	용병하다	用兵하다	用兵－
애사하다	愛社하다	愛社－	용병하다	傭兵하다	傭兵－
애처하다	愛妻하다	愛妻－	우국하다	憂國하다	憂國－
애향하다	愛郷하다	愛郷－	운수하다	運輸하다	運輸－
야경하다	夜警하다	夜警－	월경하다	月經하다	月經－
야식하다	夜食하다	夜食－	월식하다	月蝕하다	月食－
약용하다	藥用하다	藥用－	위선하다	僞善하다	僞善－
양각하다	陽刻하다	陽刻－	위정하다	爲政하다	為政－
양계하다	養鷄하다	養鷄－	위헌하다	違憲하다	違憲－
양돈하다	養豚하다	養豚－	유신하다	維新하다	維新－
양로하다	養老하다	養老－	윤번하다	輪番하다	輪番－
양봉하다	養蜂하다	養蜂－	은사하다	恩赦하다	恩赦－
양어하다	養魚하다	養魚－	은사하다	恩賜하다	恩賜－
양잠하다	養蠶하다	養蚕－	음모하다	陰謀하다	陰謀－
양재하다	洋裁하다	洋裁－	응급하다	應急하다	應急－

어로하다	漁撈하다	漁勞－	의문하다	疑問하다	疑問－
어탁하다	魚拓하다	魚拓－	의심하다	疑心하다	疑心－
억설하다	憶說하다	憶說－	의혹하다	疑惑하다	疑惑－
엄벌하다	嚴罰하다	嚴罰－	이뇨하다	利尿하다	利尿－
역동하다	力動하다	力動－	이의하다	異議하다	異議－
역모하다	逆謀하다	逆謀－	이재하다	理財하다	理財－
역주하다	譯注하다	訳注－	이적하다	利敵하다	利敵－
연극하다	演劇하다	演劇－	인화하다	人和하다	人和－
연맹하다	連盟하다	連盟－	인화하다	印畫하다	印画－
연민하다	憐憫하다	憐憫－	일몰하다	日沒하다	日没－
연병하다	練兵하다	練兵－	일식하다	日蝕하다	日食－
연승하다	連乘하다	連乘－	일신하다	日新하다	日新－
염세하다	厭世하다	厭世－	일용하다	日用하다	日用－
엽기하다	獵奇하다	獵奇－	일조하다	一助하다	一助－
영단하다	英斷하다	英斷－	임사하다	臨死하다	臨死－
영리하다	營利하다	營利－	임상하다	臨床하다	臨床－
영빈하다	迎賓하다	迎賓－	임시하다	臨時하다	臨時－
영생하다	永生하다	永生－	임전하다	臨戰하다	臨戰－
영위하다	營爲하다	營為－	임종하다	臨終하다	臨終－
영춘하다	迎春하다	迎春－	임해하다	臨海하다	臨海－
예비하다	豫備하다	予備－	입건하다	立件하다	立件－
오직하다	汚職하다	汚職－	입관하다	入棺하다	入棺－
오판하다	誤判하다	誤判－	입헌하다	立憲하다	立憲－

「불고(不告)：不告」「불굴(不屈)：不屈」「불귀(不歸)：不歸」「불매(不買)：不買」「불문(不問)：不問」「불사(不死)：不死」「불발(不發)：不發」「불변(不變)：不變」「불복(不服)：不服」「불신(不信)：不信」「불치(不治)：不治」「불평(不平)：不平」, また「양계(養鷄)：養鷄」「양돈(養豚)：

養豚」「양로(養老)：養老」「양봉(養蜂)：養蜂」「양어(養魚)：養魚」はいずれも日本語には名詞形しかない。これには語彙レベルでの非対応だけでなく、両言語の語構成¹²も関わっていると思われる。筆者2人を含め韓国語を母語とする日本語学習者は、つい「*不買する」「*不変する」「*不信する」「*不平する」と言いそうである。このような語構成からの不一致については稿を改めて分析するつもりである。

(19)のVNを見ていると韓国語の方がVN+하다形を多く用いているようにも見えるが(20)のように日本語からも同じことがうかがえる。

(20) 飲食する	음식(×하다)	影響する	영향(×하다)
傾斜する	경사(×하다)	故障する	고장(×하다)
紅葉する	홍엽(×하다)	宅配する	택배(×하다)
鼎談する	정담(×하다)	示談する	시담(×하다)
始末する	시말(×하다)	勝負する	승부(×하다)
成人する	성인(×하다)	悲鳴する	비명(×하다)...

(20)のようなVNがどれほどあるかは、『デイリー』の「日韓辞典」の分類・分析を待たなければならない。森田(1994)に中国の留学生が見せた「*同学スル」「*殺人スル」のような誤用例が載っている。これは上記のような理由で韓国人留学生も起こしうる誤用である。

4-2-7 【非対応7】の場合

【非対応7】は、(21)のように「2字漢語+되다」に「2字漢語+スル」が対応する類である。今回の調査で【非対応7】を見せた語は212語で、非対応漢語VNの全体の16.56%を占めている(<表1>参照)。【非対応7】の数は【非対応6】のその3分の1程度だが、日韓対照言語研究の早い段階から注目され、多くの論文で取り上げられている。これには統語論の問題¹³が関わっており、理論的分析および解明が必要であるからでもある。

(21) 격화(激化)되다	激化する
결렬(決裂)되다	決裂する
결핍(缺乏)되다	欠乏する；欠ける
경도(傾倒)되다	傾倒する；傾ける
경직(硬直)되다	硬直する
고갈(枯渴)되다	枯渴する
고립(孤立)되다	孤立する

고양(高揚)되다	高揚する
고조(高調)되다	高調する
고착(固着)되다	固着する
공통(共通)되다	共通する
괴리(乖離)되다	乖離する
굴절(屈折)되다	屈折する
귀결(歸結)되다	歸結する
귀속(歸屬)되다	歸属する
귀착(歸着)되다	歸着する
난파(難破)되다	難破する
누적(累積)되다	累積する
누전(漏電)되다	漏電する
누출(漏出)되다	漏出する
단절(斷絶)되다	断絶する
당선(當選)되다	当選する
동화(同化)되다	同化する
도취(陶醉)되다	陶醉する
마비(麻痺)되다	麻痺する
모순(矛盾)되다	矛盾する
무산(霧散)되다	霧散する
보급(普及)되다	普及する
통용(通用)되다	通用する
퇴적(堆積)되다	堆積する
편재(偏在)되다	偏在する
풍화(風化)되다	風化する…

『東亜新国語辞典』（2004）をはじめとする韓国の国語辞典では、「경직(硬直)되다」「당선(當選)되다」「무산(霧散)되다」などを「VN-하다」（自）と「VN-되다」（自）の用法があるように記述している。しかし、提示された用例はいずれも「VN-되다」（自）であり、今回本稿のために集めた用例もいずれ「VN-되다」（自）であった。「VN-되다」（自）として記述されている「마비(麻痺)」「모순(矛盾)」などのように、実状を反映すべきである。

「VN-되다」の()中には(22)のように常に「漢語-되다」でしか用いら

れない動詞もあることを取り上げておきたい。

(22) 결부(結付)되다	結び付く
낙후(落後)되다	後れを取る
누락(漏落)되다	抜け落ちる；漏れる
동파(凍破)되다	凍って破裂する
품질(品切)되다	品切れになる
피검(被檢)되다	検挙される
피랍(被拉)되다	拉致される
피선(被選)되다	選ばれる
피소(被訴)되다	提訴される；訴えられる…

しかし、いまだにこれらの非対応について理論的にはもちろん、きちんとしたデータの整備もできていない。この問題点を解決するためにも、まずは多くの用例のついているデータベースの構築が急がれる。今後データベースの構築の上、本格的な分析に取り組む必要がある。

ここまで、日韓両言語の2字漢語VNの中で非対応を示しているVNを7つに下位分類し、その様子や例を見てきた。この非対応は従来の先行研究で取り上げられたずれ以外にも多様なずれの様子を呈し、色々な形で両言語の学習者に負の転移を起こしうることが分かった。

5. 日本で出版されている韓日辞典の課題

今回韓日辞典を対象にした語彙調査で「負の転移」を起こしうる2字漢語VNが1,300語ほどあることが分かった。この数値は『デイリー』には載っていない「가격(加撃)하다」「낙상(落傷)하다」「낙점(落點)하다」「난비(亂飛)하다」「노산(老産)하다」「독대(獨對)하다」「분당(分黨)하다」などの2字漢語VNの存在を考えるとさらに増えると思われる。使用語彙を中心に漢語VNを載せるか理解語彙まで載せるかはそれぞれの辞書の編集方針に関わると思われるが、いずれにせよ、全体の漢語VNの3割前後で推移すると予想される。

以下では日本で刊行されている韓日辞典に上記で取り上げた負の転移につながりうる2字漢語VNをどういうふうに取り上げたらいいのかについて論じたい。

まず、漢語VNのレベルでは対応しながらも実際の使用場面では非対応が予想される【対応2】についてはより詳しい記述が必要である。例えば、

『デイリー』(2009)のように「망황(彷徨)名 𠄎自他彷徨(망황)；さまようこと」と、同じ漢語だから先に提示するのではなく、頻度の高い和語を先にする、または字の大きさや太さで重要度を表わすこともできる。実際、三省堂から出している『デイリー』より規模の大きいシリーズの『クラウン仏和辞典』第6版(2006)を見ると文字の太さで違いを出している。同じく三省堂の『グランドセンチュリー英和辞典』第3版(2012)を見ると、文字の太さだけでなく、大きさ、色違いで対応関係の比重を表わしている。漢語VNの場合、「망황(彷徨)」のように名詞と動詞の用法をまとめて提示するのではなく、「망황(彷徨)」と「망황(彷徨)하다」をそれぞれ見出し語、または「망황(彷徨)하다」を「망황(彷徨)」の子見出し語として提示するのも考えられる。また『東亜新国語辞典』(2004)では取り入れていないが、『訓民正音国語辞典』(2004)や『高麗大韓国語大辞典』(2009)のように、漢語VNの派生語として取り上げることも考えられる。

【非対応1～5】についても、日韓両言語間でVNが対応していないことに注意を促す配慮が必要である。頻度の高い重要語の場合は『グランドセンチュリー英和辞典』第3版(2012)で見せたような文字の太さ、大きさ、色違いで対応関係を示すとより効果的であろう。【非対応6】の場合、VNレベルで対応しているため、動詞までは対応しないことが埋もれてしまったが、【対応2】への提案と同様、漢語VNの派生語として取り上げることも考えられる。【非対応7】についても、「충혈(充血) 𠄎充血。충혈-되다 𠄎充血する。」のように派生関係を形式化して提示する必要がある。韓日辞典において今後こういう学習者目線(ユーザーフレンドリー)が必要である。

今回の語彙調査の結果は「韓日辞典」の記述はさることながら、語義の提示の仕方にも示唆することが多かった。「日韓辞典」の分析結果が、待たれるところである。

6. おわりに

本稿では、『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』(2009)の見出し語からピックアップした2字漢語VNを対象にまとめた「データ」をより所にその現状を浮き彫りにした。

本稿での調べによると、両言語の漢語動詞、とりわけ2字漢語VNの場合、7割強が対応している。この数値は1つの目安ではあるが、実在する

語数の観点からすると上がる可能性も、同じく漢語動詞が存在してもコロケーションによってはずれていたり、漢語より和語の使用が自然な場合が多かったりして、実際使用の観点からすると下がる可能性もある。しかし、大まかに対応7対非対応3の割合はそれほど変わらないと思われる。

日韓両言語に見られる漢語動詞の共有という「正の転移」を両言語の教育現場で生かしつつ、不一致を見せている「負の転移」から予想される「母語の干渉」にどう向き合うかは今後両言語の教育において問題になってくるとと思われる。そのためにも、本稿での語彙調査のようなデータの整備が1つの参照点となりうるのではなかろうか。本稿を足がかりにより精緻な分類・分析作業を続け、その結果は『デイリーコンサイス韓日・日韓』(2009)の改訂版に生かしたい。「日韓辞典」での分析および両言語の漢語VNのデータの整備は今後の大きな課題になりそうだ。

注

- 1 白井(2012:4)は「母語と外国語が似ているほど正の転移が起こる、そして全体として学習が容易になる。」と述べている。
- 2 1字漢語動詞は2字漢語動詞とは異なる対応の様相を呈している。これらには2字語とは異なる基準を設け、分析する必要がある。
- 3 *は当該のVNが成り立たないことを表わす。
- 4 『大辞林』第2版(2005)に「内燃」「愛煙」「錬金」の名詞形は見出し語として載っていない。しかし、「データ」にはこのようなケースの語も何語が含まれている。
- 5 韓国語は「2字漢語+하다」の語構成でありながら形容詞の場合もある。「유명(有名)-하다:有名だ」「선명(鮮明)-하다:鮮明だ」のように日本語のナ形容詞に相当するものだが、今回はこれの調査までには至らなかった。3字漢語VN(「입후보(立候補)-하다:立候補する」「영화화(映畫化)-하다:映画化する」)、4字漢語VN(「악전고투(惡戰苦鬪)-하다:惡戰苦鬪する」「입신출세(立身出世)-하다:立身出世する」)と日本語との対応関係の調査は今後の課題としたい。日本語のみの場合は、小林(2004)の分類、分析の研究がある。
- 6 韓国語では、「언급(言及)을 회피(回避)하다」になるが、日本語では「*言及を回避する／言及を避ける」になる。このようなコロケーションまで考慮すると、両言語の漢語VNの用法上のずれはより広がるとと思われる。
- 7 例えば、韓国の国語辞典『東亜新国語辞典』(2004)には「방념(放念)하다:放念する」「산재(散財)하다:散財する」「시작(試作)하다:試作する」「실념(失念)하다:失念する」などが載っているが『デイリー』には載っていない。これらのVNは日本語の中ではわりと日常的に用いられているが、韓国語の中では理解語彙であっても

- 使用語彙ではない。しかも漢字表記がない限り、正確な意味を捉えることは難しい。
- 8 韓国語にもこれに相当する「불문(不問)에 부치다」という表現がある。しかし「동서양을 불문하고洋の東西を問わず」のように「불문하다」も用いる。
 - 9 「*失点する」は成り立たないが、対義語の「得点する」は成り立つ。似たような例に「*陽刻する」「陰刻する」がある。ちなみに『大辞林』第2版(2005),『新明解国語辞典』第7版(2011),『大辞泉』(1995)に「陽刻する」は載っていない。
 - 10 『デイリー』は主に『東亜新国語辞典』(2004)に依拠しながら品詞分類を行ない、「야경(夜警)하다」「재야(在野)하다」「주간(週刊)하다」「주화(鑄貨)하다」「치명(致命)하다」のようにVNとしての用法があると記述した。しかし、『高麗大韓国語大辞典』(2009)に、これらはいずれも名詞としての用法しか載っていない。『訓民正音国語辞典』(2004)の場合、「주화(鑄貨)하다」「진통(陣痛)하다」「치명(致命)하다」はVNになっている。その逆もあって、「도박(賭博)하다」「변종(變種)하다」が『高麗大韓国語大辞典』(2009)ではVNになっているが、『東亜新国語辞典』(2004)には名詞形としてしか載っていない。今後このようなずれにも実情を反映し整理していく必要がある。
 - 11 尹亭仁は今回の論文の執筆に当たって初めて「*営為する」であることが分かった。韓国語の「영위(營爲)하다」の文脈、例えば「행복한 생활을 영위(營爲)하기 위해서도/*幸せな生活を営為するためにも…」のように、「*営為する」は「営為する・営む」が共存する【対応2】の類であると思っていた。韓国人でこういうふうな負の転移をした人は筆者だけではないと思う。
 - 12 仁田(1980)は、漢語動詞においては語構成から文構造を見ることができると述べている。【非対応6】のような語構成の違いに両言語の文構造の違いが隠れているかも知れない。
 - 13 「되다」は自動詞化に関わる接辞でもあるが、漢語VNの受身に関わる接辞でもある。これについては尹亭仁(2005)を参照されたい。

参考文献

- 生越直樹(1982),「日本語漢語動詞における能動と受動:朝鮮語hata動詞との対照」,
『日本語教育』48号, pp. 53-65
- (2001a),「現代朝鮮語の하다動詞における하다形と되다形」,『朝鮮文化研究』
8, 東京大学大学院人文社会系研究科付属文化交流施設朝鮮文化部門, pp. 94-76
- (2001b),「하다動詞の하다形・되다形の使い方について—インフォーマント
調査の結果から—」,『韓日語文学論叢』, 太学社, pp. 533-554
- (2007),「朝鮮語と漢字」, 村田雄二郎他編『漢字圏の近代—ことばと国家』,
pp. 149-168, 東京大学出版会
- 門脇誠一(1982),「韓国語と日本語の語彙」,『日本語教育』48号, pp. 43-52
- (1989),「日・朝語対照研究—「漢語+する」と「漢語+hada」について—」,

『北海道東海大学紀要人文社会科学系』第2号, pp.39-58

小林英樹 (2004), 『現代日本語の漢語動名詞の研究』, ひつじ書房

白井恭弘 (2012), 『英語教師のための第二言語習得論入門』, 大修館書店

辛碩基 (1993), 「日本語と韓国語の漢語動詞」, 『日本語と日本文学』第18号, つくば大学国語国文学会

仁田義雄 (1980), 「語構成と文法記述: 漢語動詞をめぐる」, 『語彙論的統語論』, 明治書院

森田良行 (1994), 『動詞の意味論的文法研究』, 明治書院

尹亨仁 (2002), 「日本語と韓国語の漢語動名詞の統語範疇をめぐる」, 『神奈川大学言語研究』25, pp. 117-137, 神奈川大学言語研究センター

——— (2005) 「韓国語と日本語のヴォイス構文に関する対照研究—動作主の格標示と構文の生産性を中心に」 東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士論文

鷲尾龍一 (1998), 「韓国語漢語動詞における動詞選択の問題—「對應하다, 對應되다」の場合—」, 『研究報告(2)先端的言語理論の構築とその多角的な実証(2-A)—ヒトの言語を組み立て演算する能力を語彙の意味概念から探る—』, COE形成基礎研究費, pp. 389-416

【韓国語テキスト】

李昌圭 (2000/2006) 『韓国語初級—文型中心CDテキスト』 白帝社

——— (2000/2005) 『韓国語中級』 白帝社

——— (2008) 『韓国語上級』 白帝社

【辞書類】

<日本語>

天羽均・大槻鉄男・佐々木康之・多田道太郎・西川長夫・山田稔・Jean Henri Lamare 編 (2006) 『クラウン仏和辞典』第6版 三省堂

木原研三監修 (2012) 『グランドセンチュリー英和辞典』第3版 三省堂

小泉保他編 (1989) 『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店

小学館編 (1995) 『大辞泉』小学館

松村明編 (2005) 『大辞林』第2版 三省堂

山田忠雄他編 (2011) 『新明解国語辞典』第7版 三省堂

尹亨仁編 (2009) 『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』三省堂

<韓国語>

李基文監修 (2004) 『東亜新国語辞典』第5版 東亜出版社

『訓民正音国語辞典』(2004) 金星出版社

『高麗大國語大辞典 (2009)』高麗大学校民族文化研究院